

# NEWS LETTER



## NO.27 2007.6.1

にほんごひろば岡本

発行：にほんごひろば岡本  
〒658-0003 神戸市東灘区本山中町 4-18-22  
☎078-453-5931

<http://www.kabto-yama.ac.jp/~hiroba/>

### 「気負わず、気長に、楽しく！」

「気負わず、気長に、楽しく！」にほんごひろば岡本のスローガンともいえる、この言葉、私は、この言葉に何度はげまされたのでしょうか？

日本語ボランティアを始めて、今年で10年目、にほんごひろばで支援させていただいて7年になります。ボランティアを始めた当初は、学習者のニーズに私は応えているだろうか？ 私の教え方はまちがっていないだろうか？ 本当に学習者が学びたい事を伝えているだろうか？ などなど……。頭を悩ませる事は山積していました。そんな時手にしたニューズレター、巻頭文の最後に書かれていた、この一節「気負わず、気長に、楽しく！」をモットーにがんばりましょう」が、私の目に止まりました。そうなんだ！ 気負わなくていいんだ、気長に楽しくやればいいんだ！ その時、この一節が、いかに説得力があるか、いかに深い意味があるかを、初めて痛感しました。あれから、ずっと、いつもこの言葉が私を元気づけてくれています。



今年の3月21日、春分の日のことでした。実母がくも膜下出血で倒れました。すぐに夫と病院へ搬送し、一晩病院で待機していた私の動揺は口では語り尽くせないものでした。翌日、手術が行われ、あれから、1カ月半、母はほぼ元通りに回復しましたが、術後、2～3週間は、毎日の病院通い、先の見えない看病と大変な日々が続きました。そんな時、ひろばで私を気遣ってくれた学習者との会話は、本当に気持ちや和むものでした。日本語支援が私の中でこんなに重きをおいていたとは自分でも正直驚きました。

気負わず、気長に、楽しく！今後も支援していこうと決意を新たにいたしました。

(橋本桂子)

## 「私にとっての日本語ボランティア」

大西 勇

わたしはある日本語教室の「日本語ボランティア募集！」というチラシを見て、自分にもできるだろうかと思いながら、養成講座を受けました。修了してすぐ、最初に紹介されたパートナーはベトナム出身の若い女性でした。わたしはドキドキしながらも、それを気付かれない様がんばりました。

1年ほどが過ぎた頃、「日本語ボランティアって、なんぼほどのもんやろ？」という素朴な疑問を抱くようになりました。そして昨年4月、神戸市シルバーカレッジのグループ学習で、「日本語ボランティアの社会的意義」というちょっと気取った名題でテーマを提案し、8人のグループで学習を始めました。



本やインターネットで在日外国人について調べたり、県庁や市役所を訪問して外国人施策を聞いたりしました。ハイライトは、7つの日本語教室を訪ね、20組の学習者と支援者にインタビューをしたことでした。昨年の夏、にほんごひろば岡本の一部の方にも大変お世話になりました。

そして分かってきたことは、日本語ボランティアの活動は、これからますます多くの外国人を迎えようとする日本の社会にとって、重要なインフラストラクチャー（社会基盤）の

ひとつなのだということです。

なぜそう言えるかは、日本語ボランティアが支援者として活動する日本語教室の特長をあげればどなたにでもうなずいていただけるでしょう。つまり「料金が安い」「近くにある」「時間が選べる」、だから勉強したい人は誰でもいつでもすぐに始められる、マンツーマン方式だから自分のニーズに合った勉強をしてもらえる、日本語の勉強を通して生活習慣や文化も教えてもらえる、逆に支援者にとっては学習者からその人の国のことが聞ける、などが日本語教室の強みです。これは国や県や市ががんばってもやれることではないのです。

（関係者の要望により、この間の記事内容を削除しました）

さて支援者のみなさん、日本語ボランティアはこれからの社会にとってかけがえのない存在なのだという、ゆるぎない自信と誇りを持って学習者を迎えましょう。

学習者のみなさん、支援者を信じてのびのびと学んでください。そして共に学び互いに尊重し合える関係を一層深めていきましょう。

## 支援者・学習者紹介

★矢崎菜央子さん

★カン・ナヨンさん (韓国出身・女子)

### とっておきの笑顔いつまでも

はじめまして。神戸松蔭の4回生、矢崎菜央子さんです。ひろばの活動に参加し始めてもうすぐ1年がたちます。1人目に韓国人の大学院生を担当し、2人目に今回皆さんにご紹介するカン・ナヨンさんを担当しました。



ナヨンさんは、明るく活発でユーモアがあり、週1回のひろばでの学習をとっても楽しませてくれました。私がナヨンさんの担当に決まったとき、私は小学生にどのように日本語を教えれば良いか、文字はどうやって教えれば良いかと不安になりました。しかし、ナヨンさんに会って話をしているうちに、そのような不安はなくなっていました。ナヨンさんの明るさと笑顔に、何度こちらが助けられたか知りません。

ナヨンさんとの学習で忘れられないことがあります。小学校中学年向きの短いお話を読んだときでした。ひと通り読んだ後、どんな内容だったか説明してもらおうと思っていると、ナヨンさんが、今読んだばかりの話を元に別の話を作って聞かせてくれたのです。新しい登場人物がいたり、ハッピーエンドのお話が覆されたりと、とても楽しいお話でした。その時のナヨンさんの笑顔は今でもはっきり覚えています。

現在、ナヨンさんは学校でのクラブ活動のため

に、ひろばでの学習はお休みです。きっとクラブ活動の中でも、ナヨンさんのとっておきの笑顔が輝いているのではないかと思います。今度彼女に会うときは、私も負けないくらの笑顔でいたいなあと思っています。

## がくしゅうしゃしょうかい 学習者紹介

★カン ジョンフィ君 (韓国出身・男子)

### “びっくり”が毎週楽しみです

にほんごひろば岡本に参加するようになって、各国の学習者の方々と挨拶や、会話を交わし、色々な国の、色々な話を聞ける楽しみを頂いています。

大人の学習者に混じり、子供さんの姿もちらほら。「子供の日本語もやってみたいな」なんて思っていたら、担当が韓国人のカン ジョンフィ君に決まりました。



ジョンフィ君は8歳で小学2年生、韓国では小学3年生だそうです。2005年6月にお父様の仕事でご家族での来日し、お姉ちゃん(カン・ナヨンさん)と一緒にひろばに来ています。

お母様は、韓国の教育事情が厳しいらしいので、お国へ帰った時の事も考えて、やきもきされているご様子。そんなお母様の心配をよそにジョンフィ君はいたってマイペース。そろばんや剣道、それに英語を習っているとか、また、絵を描くこと

が大好きで、毎週いろんな絵を描いて見せてくれます。その絵に漫画のようにセリフを書き入れて「にほんごの学習」です。先日は小学校のアートの時間に、生きたヘビを触ったり、抱いたりして絵を描いたのだそうです。ひろばでもヘビの絵をことこまかに再現、ヘビの苦手な私は驚きです。

また、絵を描くよりもさらに得意なのが算数です。すごい速さで正確に暗算します。いつも感心させられます。小学校の授業は45分なので、ひろばでの学習でも、途中1、2回、ゲームや折り紙、絵を描くなどしてひと休みです。そんな時、日本の友達と遊んだことを話してくれます。子供は遊びを通して言葉やルール、生活習慣などを学び取るので、覚えるのがとても早いように思います。私の言葉も良く理解出来るので、なんだか、日本の子供と錯覚するほどです。私を童心に帰らせてくれる唯一の楽しい時間です。来週はどんな“びっくり”があるのだろうか……と、毎週会うのがとても楽しみです。

日本を第二の故郷として思い出を沢山作り、ジョンフィ君が大人になる頃には、今よりもさらに日韓関係が友好的であるように願ってやみません。  
(山中寿子)

## 千タオ便りVol. 1

### 青島いいとこ！！

みなさん、お元気ですか？ 3月から中国山東省青島で念願の日本語教師デビューできた平松です。なんせ初めて学校で、初めての海外生活で、初めての中国語で。不安だらけで始まり、あっという間に1カ月が過ぎました。

当初の心配をよそに、周囲の方々みんなに助けってもらって何とかやっています。職員も学生も、ここしばらく“私のような日本人”を見なかったようです。

「中国語できない人が来るなんて！」

と驚かれて、先回り

「じゃ、苦勞するだろうから何でも手伝いますよ」

と何かと心配してくれます。

例えば郵便を出してきたら

「そんなこと、一人でどうやったの？」

と尋ねられました。いや、このくらいは勢いで何とか。ほんと、ありがたいし心強いし、嬉しい限りです。

今、2年生を担当しています。

学生達には、日本語しか通じない相手に自分の日本語が通じるのだろうか？という不安があって、クラスで私を食事に招待しようということになっても実現するまでになんと3週間もかかったそうです。職員室に来て、中国人日本語教師に相談して、やっぱり直接話せと言われて断念して……。

一緒に遊んでみたら、カタコトでもコミュニケーションが取れる！とわかってくれたみたいで。この時に教えてもらった数字の指表示。これがその後の買い物をスムーズにしてくれました。

想像とは裏腹に、日本語だけの授業（しか私は出来ない）も初めてなんですね、彼ら。中にはその壁を乗り越えて、先生に言いたいことがあるんだから中国語でいいでしょ？とガガガと中国語で来る強一い学生もいます。実際わかりませんけど。



何だか以前の私自身を見ているようで。学校で英語勉強して、でも海外旅行で何も話せなくて、英会話教室（日本語禁止の有名な所です）へ申し込んだ。そしてレッスン初回、自己紹介はもちろん、先生のリピートすら出来ずに胸を伝う脂汗。今じゃ懐かしいですけど。

そんな調子なので学生との距離がどうしても

あるのですが、それを縮めたのが私の中国語レッスン。発音教えてくださいよ、学生達。もちろん単語も教えてください。

ある日、中国語テキストの会話文の読解ができたのが嬉しくて、

「これから読むから聴いてね」

とお願いしたら、やっぱり発音がデタラメで笑われます。気楽にやっているのでも気にも止めず読み進めていると

「先生を笑うな、練習だろ！」

と戒める他の学生。涙が出そうなくらい嬉しかったな。

普段、ぽつぽつと中国語単語を使うようになると、授業以外では全く会うこともなかった学生と一歩進んで話をするようになってきました。

ではスリランカの時と同じく、グサツときたひとコマ。

「先生、日本人の友達がなくて寂しくないですか？」

「そりゃ寂しいよ」

「じゃ、中国語がんばろ！」

この学生、英語が好きで日本語より使えるので日本語が出ないとき英語で話しかけてくる子ですが、この会話はきれいな日本語。もうひとり英語のほうが簡単という学生がいて、遊びにいくと話のテンポと日本語が出てくるタイミングが合わずに、英語に変えてくるのですが、この前はしばらく考えてゆっくり、

「わたしが、先生に中国語を教えてください」

と言ってくれました。普通に日本語で聞いたので即座に

「よろしくお願いします」

と答えたら、やった通じた！と喜んでいました。職員室ではこのノリを私も学生も続けています。私も中国語が通じたら同じように盛り上がっています。

さて、写真は運動会でのもの。こんな可愛い学生達に囲まれて、これから一年どんなドラマが生まれるか、次回のレポートをお楽しみに。

## みんなのひろば

✿ひろばの✿学生ボランティアさん

ご卒業おめでとう！

神戸松蔭女子学院大学の学生ボランティアの 4



名（國生和美さん 阪上妙さん 田代奈緒子さん 山本温子さん）が3月20日にめでたく卒業されました。國生さんは韓国で、阪上さんは神戸で、田代さんと山本さんは中国で新しい生活をスタートされます。今後の活躍をお祈りします。これからもいつでもひろばに遊びにきてくださいね。

## ◆ステップアップ講座・支援者交流会レポート◆

今年度も昨年同様、「実際にすぐ役立つ教え方」として『みんなの日本語』を毎回2課ずつ丁寧に解説し、具体的な教え方を交えての実習を開催しました。全4回のなかで3回目は『みんなの日本語』から離れて、ポートフォリオの使い方などの講座に「おのみち日本語教室」の支援者も参加され、意見交換もさかんに行われました。この紙面をお借りして、講師の先生方に厚くお礼申し上げます。

来年度も予定しておりますので、多くの皆さんの参加をお待ちしております。

以下、講座に参加された方のレポートを載せています。

### 【初めてステップアップ講座に参加して】

2月10日に、初めてステップアップ講座に参加しました。講師に松蔭の先輩が担当されるということだったので、期待していましたが、私の期待よりもはるかに大きなものを得ることができました。ありがとうございました。

森下先生が講座の中で言われた言葉に、とても印象に残っているものがあります。

「教科書を教えるのではなく、教科書で教える」。

教科書はものによって性格が違い、その全てを教えないといけない訳ではない、とのことでした。また、教科書を使って学習者が自分で勉強できることは教えない、とも。

私はそれを聞き、今までの自分は学習者に対してどのような授業をしていたらどうか、と振り返ってみました。そして、やはり教科書だけ、紙の上だけで教えていることがあるなど大いに反省しました。私自身も何かしらの授業を受けているとき、「そんなん教科書見たらわかるわ」と感じたことが今までに何度もあったことを思い出し、学習者の立場にたった学習の構成や教え方というものを考えなければならぬと感じました。

これからもひろばでの活動を通じて、学習者とともに成長し、自分を磨いていきたいと思えます。

(矢崎菜央子)



### 【支援者交流会を通じて感じたこと】

2007年3月10日(土)に第3回ステップアップ講座が開催されました。

この回は「おのみち日本語教室」で支援活動をされている勝島さんほか4名の方々が広島から来訪し、参加してくださいました。

講師は尾形文先生をお招きし、日本語ボランティアが抱える悩みや活動の仕方について、活発な意見交換をしました。

おのみち日本語教室は、市が運営するボランティアなので、金銭的な悩みは少ない反面、教室の使用時間に融通が利かないことや、慢性的な支援者不足に直面し、一部の支援者が大きな負担を強いられている現状があります。

これは、おのみちに限らず、全国の多くのボランティアが抱える悩みでもあります。

最近では義務教育機関で英語の授業を取り入れるところが多く、地方の小さな町でも外国人英語講師が活躍されています。そういった外国人に日本語支援を行うため、自治体が主体となったボランティアが今、増えつつあります。

学校などで昼間勤務する学習者がほとんどなので、そのため支援も夜間が主流になり、会社とボランティアの二足のわらじで活動をする支援者がほとんどだそうです。

年齢層も若く、なかなか先頭に立って教室を支える人材が確保できないことが一番の問題かもしれません。

ボランティアとはいえ、ある程度の人数が集まり活動する以上、組織として先頭に立つ人材は必要不可欠ですが、それが出来る人生経験をお持ちの層は夜間の支援には参加しづらいのが現実です。



ならば支援を週末にできないかと思っても、自治体が主体なので、土日は教室の使用ができません。こういった問題は、ボランティアだけでは解決できないことが多く、運営する自治体はもちろん、日本という国が外国人を受け入れる体制を根本的に見直し、もっと整備していくべきなのかもしれません。

勉強会の後、おのみちのメンバーと親睦会をしました。その時の彼女たちはとても活気があり、前向きで本当に日本語支援に熱心に取り組んでいるのが見てとれました。

今回のディスカッションでは、これはという解決策は見いだせませんでした。今回お越し下さった5名が中心になり、ご自分たちの支援のあり方を模索されていくと思います。

にほんごひろば岡本は、西村さんというコーディネーターを筆頭にいい形でのボランティアが組織できています。これはとても恵まれた環境だと思います。今後もおのみち日本語教室や他のボランティアとも交流を深め、お互いに切磋琢磨できればと思います。(古川知津子)

### ◆日本語教室「西山田あいうえお」訪問記◆

1月某日、その日はちょうどひろばがまだ冬休みだったので、吹田市西山田の日本語教室「西山田あいうえお」を訪問しました。

以前、兵庫ボランティアネットワークの勉強会で知り合い、是非一度、ということで見学が実現しました。

「西山田あいうえお」は公民館講座のひとつで、活動は西山田地区の公民館の一室で毎週水曜日(10:30~12:00)土曜日(14:00~15:30)に学習が行われ、その後1時間のティータイムもされるそうです。現在支援者は17名、

学習者は(水曜日23名・土曜日13名)36名。国別では韓国13名、中国9名、台湾2名、タイ2名、他イラン、ネパール、インド、ベトナム、カナダ、パキスタン、オーストラリア。阪大が近いので、留学生や研究者の家族などが学習しています。

年間行事としては年1回「日帰りバス旅行」、新年会では各国の料理を作ってゲーム・福引などを、公民館文化祭にもパネル展示などで地域の人に活動を知らせています。

設立経緯は他の公民館講座に参加されたフィリピン女性から、子どもが学校から持ち帰る連絡事項などがなかなか解らない、日本語を教えてもらえないか、という希望がだされ、また地域で困っている外国人の少しでも力になれるのなら・・・ということで当時の公民館館長を中心に6、7人が集まり始められたそうです。小さな善意からスタートした「地域のニーズにあった」教室です。

学習はマンツーマン方式で行われていました。

公民館の支援でベビーシッター制度があり、小さいお子さんを連れた若いお母さんも学習に参加できる体制があることも特長です。

「人権を尊重し、多文化共生を目指す」という会の活動趣意を理解し、意欲のある支援者が積極的に活動しておられました。

学習のあとのティータイムでいろいろお話を聞くことができました。ある学習者は出身国では医師だった女性でした。日本ではその仕事を続けることができないので、地域の外国人が病院に行くときのサポートなどを積極的に行っているとの話を聞いて、感心するばかりでした。

また、ある学習者は既に日本で暮らしている両親のもとに中国から来日し、春からは京都の大学で勉



強すると目を輝かせて話してくれました。

最後に**現在の悩み**をお聞きしました。学習者の数が常に流動的なので、ボランティアの適正な数がかめれないが、これからのことを考えると40代、50代のボランティアをもっと増やしていきたいが、募集方法をどうするか？ ボランティアの研修をもっと取り入れなければならないと思うが、外部の研修が教室開催日の土曜日と同じ日に行われることが多いのでなかなか参加できない、と言われていました。



当日は学習支援のないボランティアさんが近々行われる新年会の打ち合わせをしておられました。お忙しい中、いろいろな話をお聞きすることができて、有意義な時間でした。本当にありがとうございました。(井畑真理子)

### ■お知らせ■

#### ●恒例 今年のお花見！(2007年4月7日 西宮夙川河川敷)

今年は暖冬なのでお花見は例年より早くなるかも・・・などの予想に反して、4月に入って満開になり、予定通りのお花見を行いました。阪神間屈指のお花見どころの夙川は評判どおりの桜並木でたくさんの露店が出ていて、子どもたちは大喜びでした。

前日の天気予報より少し早く雨が降り始めたので、午前中だけのお花見になりましたが、美味しいお弁当を食べたり、じゃんけんゲームをしたりして楽しく過ごしました。

当日は参加できなかった西村代表が早朝、お花見ベスト・ポジションに場所取りをしてくださいました。ありがとうございました。(なお、お花見の写真はひろばのHPにアップしています。)

#### ●ひろばのホームページ リニューアル！

古川知津子さんのご尽力でひろばのHPが充実しました。ぜひ、のぞいてください。「にほんごひろば岡本」でも検索できます。最新情報はHPで更新していますので、チェックしてください。なお、学習の欠席等の連絡は、従来どおり、担当の支援者または西村代表におねがいします。

<http://www.kabto-yama.ac/~hiroba>

#### ●にほんごひろば岡本 第8回 総会 6月2日(土曜日)午後1~2時

皆様のご協力、ご支援のおかげで、ひろばも9年目を迎えることができました。2007年度総会を6月2日(土曜日)午後1時から開催します。2006年度の活動報告および収支決算・監査報告、2007年度運営委員選出、2007年活動方針および予算案等の議事を行います。みなさまの出席をお願いします。

#### ●七夕まつり 7月7日(土曜日)午前11時頃~午後2時頃

今年は土曜日がちょうど7日です！七夕飾りを折り紙で作って願い事を書きましょう。浴衣着付けが体験できるかもしれません。また、お抹茶を立てたり、書道にも挑戦してみてください。軽食を用意します。無料です。ご家族お友達を誘って参加してください。

#### ●ひろばの夏休み

8月15日(水曜日)・8月18日(土曜日)

#### ●恒例(BBQ)バーベキューパーティー(予定)

10月14日(日曜日) 芦屋奥池遊びの広場

[編集後記] 今年もバラが咲きましたよ、Mさん。紙数の都合で、CONTENTS省略させていただきました。(m・i)